「カタカタキツツキ」工作要領

2021.7.14　　工作会１班

１．カタカタキツツキ各部の作成

キツツキはまつぼっくりで胴体を、どんぐりで頭部を作ります。各自好みの大きさのまつぼっくりとそれに見合うどんぐりを選んでください。

１）キツツキ頭部

・どんぐりに殻斗（頭）、ヒマワリ等の種子（くちばし）、動眼又は種子（眼）を木工ボンドで取り付ける　（くちばしの種子は取り付けやすい様にどんぐりや種子の先端をヤスリ等で削っておく）

２）キツツキを作る

・どんぐり（頭部）に刺した楊枝を必要長さに切断し、まつぼっくり（胴体）の枝元に設けた約 2mmφの穴に挿入し胴の前後を決め木工ボンドで固定する

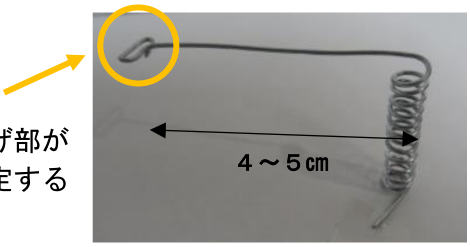
・胴体にＹ字形小枝（脚）、檜樹皮（尾羽）を木工ボンドで取り付ける

・各自好みのキツツキを想定して色付け等の意匠を施す（最下図参照）

３）針金コイルの作成、取り付け

・４mmφX35cm の竹ひごの長さ５cm 程度に紙（広告紙など）を２重に巻き付けセロテープで留める。この紙の上に 0.9 mmφX30cm 長さの針金を右図のように手で巻き付ける（コイル状に）
針金の端はキツツキに取り付けるため約 6cm 長さを残す。出来たコイル状の針金は変形を抑えながら竹ひごから外す

・６cm長さの針金部分の端はまつぼっくりに固定後の針金の動きを抑えるため右図のように先1.5～2cmをラジオペンチなどでＴ字の形など動きにくい形に曲げておく



・先端を曲げた針金部をキツツキ腹側まつかさの中央奥（針金曲げ部が安定する場所）に水平方向に挿入しグルーガンでしっかりと固定する

４）木立支柱の作成

・４mmφX35cm の竹ひごを木の台座中央穴に差し込み木工ボンド固定する

・輪切りしたセンダンが４mmφの竹ひごの先に差し込めるか確認する。
差し込めない時はドリルで４mmφの差し込み穴をあけておく

・ナンキンハゼの果実２～３個をアベマキ殻斗に入れたものを巣とし、輪切りしたセンダンに木工ボンドで固定する

２.組み立て、作動

・竹ひごにストッパー用の長さ 40～50mmの竹筒を挿入後、キツツキに取り付けた針金のコイル部を挿入し竹ひごの頂上部に巣の受け台のセンダンを手で差し込む（針金コイル調整のためボンドで固定しない）

・竹ひご上部に静止させたキツツキを手でつつくと上下振動しながら降りていきます

・下降は竹ひごの太さバラツキ、針金コイルの出来具合、竹ひごの太さ、傾きなどに左右されるため各自でコイルを調整して最適状態を見つけてください

竹筒ストッパー

コゲラ

アオゲラ

アカゲラ

カタカタキツツキ工作要領図説　　　　　　　2021.7.14　１班

材料

キツツキ頭部

ヒマワリ種子、動眼などは各自選択

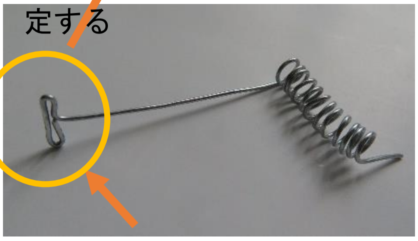
キツツキ胴体部

木立支柱部

竹ひご、
針金

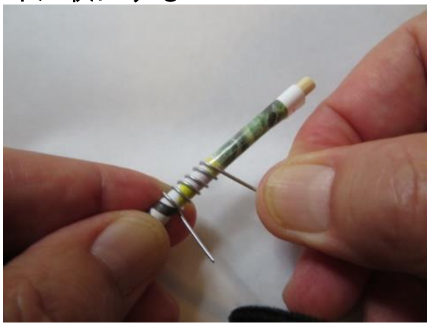
ドングリ、種子の先は
ヤスリで削っておく

T字部を差し込み
グルーガンで固
定する

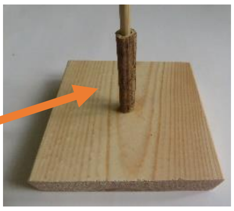


針金の一旦は
T字形に曲げる

針金は竹ひごに
巻いた紙の上に
手で巻き付けコ
イル状にする



センダンの輪切
りを竹ひごに差
し込む（ボンドで
固定しない）



竹筒は
ストッパー

出来上がり状態